

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成 23 年 4 月 14 日 (2011.4.14)

【公表番号】特表 2010-523842 (P2010-523842A)

【公表日】平成 22 年 7 月 15 日 (2010.7.15)

【年通号数】公開・登録公報 2010-028

【出願番号】特願 2010-501416 (P2010-501416)

【国際特許分類】

E 0 6 B 3/26 (2006.01)

【 F I 】

E 0 6 B 3/26

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 2 月 23 日 (2011.2.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

樹脂製の断熱ストリップ本体 (20) を有する、窓材、ドア材及びファサード材用の複合プロファイルのための断熱ストリップ (10) であって、

長手方向 (Z) に伸びているとともに、横方向 (X) において互いに距離 (a) だけ離れている少なくとも 2 個の長手方向の縁 (21, 22) を有しており、

前記長手方向の縁は、プロファイル部品 (31, 32) の溝内にロールインするためのロールイン頭部 (25) として、複合プロファイルのプロファイル部品 (31, 32) との耐剪断結合に適応しており、

断熱ストリップ本体 (20) は、高さ方向 (Y) において断熱ストリップ本体 (20) の 1 個以上の壁を貫通する開口部 (24) を有しており、

前記開口部は、梯子の横棧状の帯状部 (23) によって互いに分離されており、

断熱ストリップは、カバープロファイル (40) と一体に形成されており、少なくともカバープロファイル (40) の一部分を留めることができるように形成されている、断熱ストリップ。

【請求項 2】

断熱ストリップは、少なくとも片側に、高さ方向 (Y) に突出しているクリップ頭部、及び / 又は、高さ方向 (Y) に伸びている窪みを有するクリップ固定部を備えている、請求項 1 に記載の断熱ストリップ。

【請求項 3】

カバープロファイル (40) が、横方向 (X) から見たときに、前記開口部 (24) の一方の側上で断熱ストリップ本体 (20) 上に突出しており、

カバープロファイル (40) と断熱ストリップ本体 (20) が、横方向 (X) から見たときに、前記開口部 (24) の他方の側上でクリップ結合に適応するよう形成されている、請求項 1 又は 2 に記載の断熱ストリップ。

【請求項 4】

クリップ結合が、高さ方向 (y 方向) に傾いてクリップインし、横方向 (x 方向) に引く力がクリップの噛合いを維持するように設計されている。

【請求項 5】

少なくとも 2 個のプロファイル部品 (31, 32) と、少なくとも請求項 1 から 4 の 1

つの断熱ストリップとを有する、窓材、ドア材及びファサード材用の複合プロファイルであって、

プロファイル部品（３１，３２）が、ロールインによって耐剪断を有するように断熱ストリップ（１０）に結合している、複合プロファイル。